

アメリカから世界へ目を向け始めたメキシコ

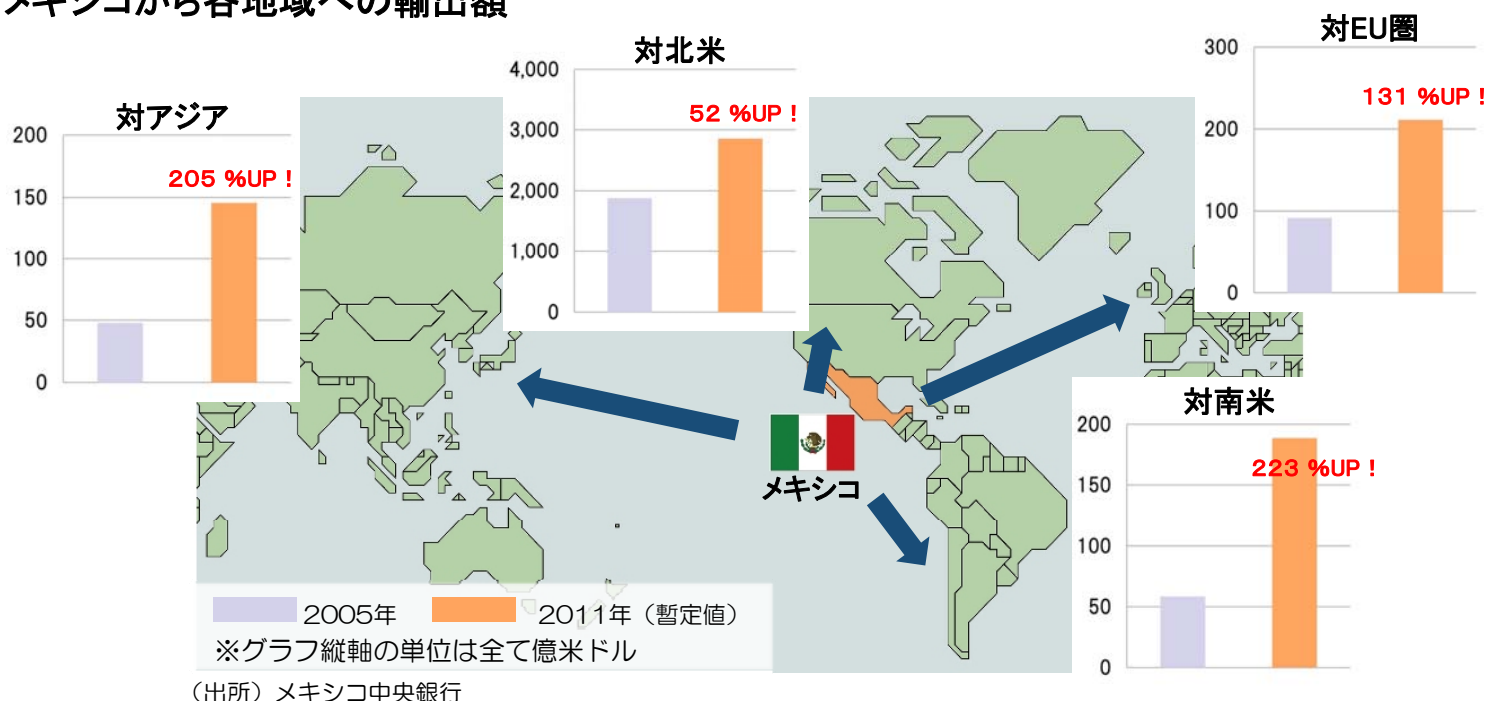
アジアに続く「世界の工場」として、成長国 * のメキシコに注目が集まっています。メキシコはこれまで、輸出全体の約80%を米国への部品輸出に依存するかたちで成長してきました。ところが近年では、米国のみならず日本や欧州諸国をはじめとした世界44カ国との間にF T A（自由貿易協定）を発効する、世界有数のF T A先進国となっています。

その結果、メキシコ経済の中核をなす自動車産業では、2012年の輸出台数が過去最高の約230万台に増加する見込みです。この背景には、FTAを活かした世界展開を目指す、外資自動車メーカーの積極的な投資があります。最近では日系企業の日産、ホンダ、マツダや、欧州企業のアウディが新工場設立の発表をしました。なかでも日産は、2011年メキシコでの生産台数が60万台に達し、シェア25%を誇るメキシコ最大の自動車メーカーに成長。現在ではメキシコを起点に世界115カ国へ輸出しています。人件費の安さや地理的優位性がもたらす低い輸送コストも追い風となり、メキシコの貿易量は今後も拡大が予想されます。

FTAをベースに、世界におけるメキシコの存在感はますます高まりそうです。

*「成長国」とは、ゴールドマン・サックスが提唱する今後世界経済の成長を牽引するであろう8カ国(ブラジル、ロシア、インド、中国、韓国、トルコ、メキシコ、インドネシア)を指す。

メキシコから各地域への輸出額



成長国について詳しくはこちらから www.gsam.co.jp

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、信頼できるとされる資料に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、あくまで例示をもって理解を深めていただくためのものであり、当該個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等を推奨あるいは勧誘するものではありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(1)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(2)再配布することを禁じます。<審査番号:83424.OTHER.MED.OTU>
© 2012 Goldman Sachs. All rights reserved.